

## 12月4日～12月10日は 人権週間です

昭和23(1948)年12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されました。

世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、採択日である12月10日は「人権デー」と定められています。日本では、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と設定し、人権週間期間やその前後には、全国でさまざまな啓発活動が展開されます。本市でも、人権意識の普及高揚を図るため、街頭啓発とみやま人権デーを実施します。

### 01. 街頭啓発

- 日時: 12月1日(月) 11:00、17:30
- 内容: 啓発物品などの配布(市内4か所)

### 02. みやま人権デー(入場無料)

- 日時: 12月14日(日) 14:00開会(開場13:30)
- 場所: 山川市民センター
- 定員: 300人(事前申し込み不要)
- 託児あり(12/10までに要電話予約)
- 要約筆記、手話通訳あり



市ホームページ



みやま人権デー  
来場者プレゼント

ヒューマンライツグッズ  
くすっぴーグッズ

※画像はイメージです。

### フロアイベント

ヒューマンライツコーナー  
こどもの人権パネル展示  
人権作文展示  
チャレンジクイズ ほか



### ステージイベント

- 14:00 開会  
みやま合唱団くすっぴー
- 14:15 小中学生人権作文発表
- 14:35 monトーク&ライブ  
～うまれてきてくれてありがとう～
- 16:00 閉会

### 人権・同和問題講演(無料)

人権を尊重する理念の普及と理解を深めるため、同和問題をはじめとする人権問題に関する講演を行います。

- 日程 1月19日(月)
- 時間 13時30分～16時(受付13時)
- 場所 まいピア高田
- 内容

①啓発DVD上映「ともに歩むために(公正な採用選考の理解と認識をめざして)」  
②講演「人権が尊重される社会のために(企業と人権)」

■ 講師  
濱近 政和さん(県同和問題をはじめとする人権問題に係る啓発・研修講師団)

■ 申込方法  
市民部人権・同和对策室に電話

■ 申込期限 12月26日(金)

■ 問人権・同和对策室(TEL 64・1544)



人権イメージキャラクター  
人権週間を楽しくするキャラクター

# 人権 作文



## 人との「つながり」

高田小学校 六年 熊川 きら

私は、読書が大好きです。様々なジャンルを読むのですが、最近では、青春小説に夢中になっています。数多くの青春小説を読んでいるうちに、私は、周りの人との「つながり」について考えるようになりました。

数年前の私は、周りの人の目を気にしすぎて、自分の思いを口に出せないことがありました。しかし、今では、「これは言っていないかな?」と考えることはあっても、思ったことを言えないことは、ほとんどありません。

このように私が変わったのは、四年生の時に、四校が高田小学校に統合したことが大きかったのかもしれない。統合したばかりの頃の私は、人見知りをしていました。同じ小学校の人としか話すことができず、話している人たちが話しているのを見て、「自分も話してみようかな?」などと想像し、もやもやとした気持ちを抱えていました。

みんなの幸せ願って

しかし、四年生の終わりから、委

員会活動など、学校全体に対する活動を行うことが多くなり、たくさんの人と関わる機会が自然と増えました。そのことを通して、周りの目を気にして言いたいことが言えなかった自分が消えていったように思います。

たくさんの人と話す、話した分だけ自分の世界が広がります。つまり、人とつながった分だけ自分を吸収して自分の視野が広がり、成長することができるのです。今までに少ししか話すことができていない人や、あいさつしかしたことのない人との間にも、「つながり」はできていると思います。たとえば、それが細いつながりだとしても、積み重ねること、糸のようにつながり合って太い「つながり」になっていきます。私は、その「つながり」を大切に、これから出会うたくさんの人たちと助け合いながら生きていこうと思います。

### 【先生のコメント】

読書を通じて、いつも様々なことを考えているきらさん。今回、きらさんが見つけた、「細いつながりを積み重ねて太い「つながり」にし、助け合いながら生きていく」という温かい考え方を、ぜひ周りの友達にも広げてほしいと思います。

放送委員会の活動では、いつも全校児童を巻き込んだ楽しい企画を考えていますね。これからも、最上級生として、様々な学年の人とのつながりを大切にしながら、残りの小学校生活を充実させましょう。

### 思いやりの心を風船に乗せて

10月24日、水上小学校の3年生と人権擁護委員などが、ひまわりの種を取り付けたエコ風船を大空に放ちました。

この取り組みは、人権の花「ひまわり」を育てることで命の尊厳を実感し、優しさと思いやりの心を育むことを目的に行われています。

5月に種をまき、試行錯誤を繰り返しながら大切に育てたひまわり。児童は、「届いたら、大事に育てて、思いやりの心を育んでほしいです。」と語りました。

掛け声に合わせて二斉に放たれた風船はさわやかな秋風に乗って、児童たちは風船が見えなくなるまで手を振りながら笑顔で見送りました。



※エコ風船は土に戻る素材でできています。